

救急外来における院内トリアージの実施について

➤ 院内トリアージとは

夜間・休日（時間外）の救急診療時間において、速やかに患者さまの状態を評価し、患者さまの緊急度区分に応じて診療の優先順位付けをおこなうことです。

➤ 緊急度区分

蘇生	心停止、けいれん継続、重症外傷、高度の意識障害、重篤な呼吸障害
緊急	心原性胸痛、重篤な体温異常、激しい頭痛・腹痛、中等度の意識障害、抑うつ
準緊急	症状のない高血圧、痙攣後（意識回復したもの）、変形性のある四肢外傷、中等度の頭痛・腹痛
低緊急	尿路感染症、縫合を要する創傷（止血あり）、不穏状態
非緊急	軽度のアレルギー症状、軽度の外傷、救急外来予約患者

➤ 来院されてから診察までの流れ

① 救急外来へ来院 受付・問診票の記入
② 救急外来担当看護師が患者様の状態を把握、緊急度区分の評価
③ 診察の優先順位の決定

当院の夜間・休日（時間外）の救急診療では、院内トリアージを実施しており、緊急度区分に応じて、緊急度の高い救急患者さまの診療が優先されることがありますが、予めご了承ください。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

